

(様式1)

(館教総発第2号)

令和4年5月9日

文部科学大臣 殿

館林市長

多田善宏

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

館林市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和2年度（1年間）

（担当）

館林市教育委員会事務局教育総務課

電話：0276-47-5165

E-mail：kyoiku.somu@city.tatebayashi.lg.jp

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和4年3月16日～令和4年3月28日

(2) 評価の方法

事業を実施した学校に対してアンケート調査を行い、調査結果を踏まえて評価した。

4. 総合的な所見

施設整備計画どおり達成できた。
大規模改造(老朽)、大規模改造(トイレ)、大規模改造(空調)事業を実施し、評価を得られた。
今後も交付金を活用した事業を計画的に実施し、学校施設の老朽化対策を図っていきたい。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

第五小学校の大規模改造(老朽)事業を計画どおり実施した。
アンケートでは「とてもきれいになった」などの評価を得ている。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

第七小学校の大規模改造(トイレ)、中学校の大規模改造(空調)事業を計画どおり実施した。アンケートでは「生徒が喜んでいる」、「とても調子が良い」などの評価を得ている。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
第五小学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	R	R3.2～R3.3	R4.2.10		
第五小学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	校	R	R3.2～R3.3	R4.2.10		
第七小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	R3.2～R3.3	R4.3.11		
第一中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	R3.2～R3.3	R3.9.17		
第二中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	R3.2～R3.3	R3.10.11		
第四中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	R3.2～R3.3	R3.10.1		
多々良中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	R3.2～R3.3	R3.10.11		
第三中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	R3.2～R3.3	R3.10.6		